

【韓国】輸出管理の運用の見直しに対する韓国政府の対応策

関西館アジア情報課 田中 福太郎

* 2019年7月1日、日本の経済産業省は、大韓民国向け輸出管理の運用の見直しについて発表し、同年8月2日、輸出貿易管理令の改正が閣議決定された。これに対し、韓国政府がまとめた対応策に係る資料の概要と構成を紹介する。

1 日本の韓国向け輸出管理の運用見直し

2019年7月4日から、日本は、半導体等の原料であるフッ化ポリイミド、レジスト、フッ化水素の韓国向け輸出及びこれらに関連する製造技術の移転(製造設備の輸出に伴うものも含む。)について、包括輸出許可制度の対象から外し、個別輸出許可に切り替えることとした¹。また、同年8月2日、輸出貿易管理令(昭和24年政令第378号)別表第3の国から韓国を削除し、安全保障に関連する輸出について包括許可から個別許可とするための政令改正が閣議決定された²。

2 韓国政府の対応策に係る資料

これらの日本の措置に対し、韓国政府は様々な対応策をとっており、韓国政府の広報サイト「政策ブリーフィング」上でも特設ページを開設している³。8月16日、このページに「2度と負けません 日本の輸出規制措置と我々の対応」(全53ページ)が公開された⁴。さらに、9月10日、その改訂版である「誰も揺るがすことのできない国 日本の輸出規制措置と我々の対応」(全38ページ)が公開された⁵。これらは、韓国政府が、公開直前までの状況と韓国政府の立場を整理して作成した資料であり、韓国政府の対応策を一覧することができる。

3 「誰も揺るがすことのできない国 日本の輸出規制措置と我々の対応」の内容

「誰も揺るがすことのできない国 日本の輸出規制措置と我々の対応」は全3章から成り、韓国政府の見解を示している。

「1 我が政府の基本的な立場」では、日本の輸出規制見直しの問題点として、①措置に対する根拠を提示しない恣意的なもの、②多角的貿易体制を脅かす一方的な措置の悪い先例、③国

* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2019年10月9日である。

¹ 「大韓民国向け輸出管理の運用の見直しについて」経済産業省ウェブサイト <<https://www.meti.go.jp/press/2019/07/20190701006/20190701006.html>>

² 「輸出貿易管理令の一部を改正する政令が閣議決定されました」同上 <<https://www.meti.go.jp/press/2019/08/20190802001/20190802001.html>>

³ 「일본 수출규제 관련 정부대응」대한민국정책브리핑(大韓民国政策ブリーフィング)ウェブサイト <<http://www.korea.kr/special/policyFocusList.do?pkgId=49500730&pWise=main&pWiseMain=TOP1#>>

なお、青瓦台(韓国大統領府)の日本語特設サイト及び韓国政府の海外向け広報サイト「Korea.net」日本語版では、日本語による韓国政府の説明資料等が公開されている。「日本の輸出規制に対する韓国政府の対応」청와대(青瓦台)ウェブサイト <<https://english1.president.go.kr/JP/main>>; 「日本の輸出規制に対する韓国政府の対応」Korea.netウェブサイト <<http://japanese.korea.net/Government/Current-Affairs/National-Affairs?affairId=908>>

⁴ 대한민국정부「다시는 지지 않겠습니다. 일본 수출규제 조치와 우리의 대응」대한민국정책브리핑(大韓民国政策ブリーフィング)ウェブサイト <<http://www.korea.kr/common/download.do?fileId=145217135>>

⁵ 대한민국정부「아무도 흔들 수 없는 나라: 일본 수출규제 조치와 우리의 대응 개정판」同上 <<http://www.korea.kr/common/download.do?fileId=145221864>>

際ルールに合致しない報復措置、④グローバル・サプライチェーンに深刻な被害が予想されるもの、⑤韓日間の互恵的な協力関係を根本的に毀損するものであると述べている。その上で、韓国政府の立場として、①日本の措置に深い遺憾の意を表明するとともにその撤回を求める、②日本と外交的な解決のために対話する意思があるとしている。

「2 我が政府の対応」では、韓国政府の外交的な対応と韓国国内の対策を示している。前者では日本に対する措置の撤回の要求及び国際社会の関心の喚起、後者では韓国企業への被害の最小化のための政府の支援及び産業競争力の強化並びに体質改善のための根本的な対策が述べられている。

「3 10問10答で理解する日本の輸出規制措置と我々の対応」では、日本の輸出規制見直しの具体的な内容及び韓国政府の対応策を細かく説明している。ここで取り上げている項目は、次の表のとおりである。

表 「誰も揺るがすことのできない国 日本の輸出規制措置と我々の対応」の第3章「10問10答で理解する日本の輸出規制措置と我々の対応」で取り上げている項目

項番	項 目
1	韓国の輸出管理制度の運用の現況と国際社会の評価 ・韓国の国際的な輸出管理体制への加入状況・履行状況 ・韓国の輸出管理制度の運用に対する国際的評価
2	日本の輸出規制措置の実施理由と「強制徴用」判決との関係
3	韓国の制度における問題の有無 ・韓国のキャッチオール制度（安全保障貿易管理）における問題の有無 ・過去における日本との協議 ・韓国における管理人員の不足・担当機関の分立
4	差別ではなく実質的影響もないであろうとする日本の主張 ・他のアジア諸国に対する規制の水準との比較 ・レジスト、フッ化水素に対する日本の個別許可の承認
5	WTO 規則に対する日本の違反と WTO への提訴 ・日本の違反の内容 ・WTO への提訴に要する時間 ・提訴の効果
6	韓国の輸出入告示の改正（日本のホワイト国からの排除の措置）
7	韓国の経済及び産業への実質的な影響 ・韓国政府の対策
8	「強制徴用」に関する大法院の判決と国際法違反の有無 ・韓日請求権協定の大法院の解釈に対する韓国政府の立場
9	今後の日本との対話と協議 ・民間交流の削減の要否
10	韓国政府の外交的努力と他国の反応 ・アメリカに対する外交的努力とアメリカの反応

(出典) 대한민국정부「아무도 흔들 수 없는 나라: 일본 수출규제 조치와 우리의 대응 개정판」대한민국정책브리핑 (大韓民国政策ブリーフィング) ウェブサイト <<http://www.korea.kr/common/download.do?fileId=145221864>> を基に筆者作成。